

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成26年 月 日

協議会名:長久手市地域公共交通会議

評価対象事業名:陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
Nーバス	7路線	前回の評価結果は、愛知医科大学病院に乗り入れる路線の位置付けや民間バス路線との関係を考慮して路線網全体の見直しの検討を行い、生活交通ネットワークに反映することと評価されたことを受けて、平成26年6月に策定した第2次地域公共交通総合連携計画では、公共交通ネットワークの将来像のイメージとして、リニモは市内外における東西方向の移動軸、路線バスは人口が集中する市西部地区を中心に市内外への移動軸とし、Nーバスはリニモと路線バスを補完するとともに、市内を面的にカバーするものとして、役割を明確にした。また、愛知医科大学～市役所～長久手古戦場駅を新たに南北軸として位置づけ、市内の移動軸に留まらず、隣接市(日進市、尾張旭市、瀬戸市)との移動ニーズへの対応を図ることも考慮した地域公共交通ネットワークイメージとした。	A 平成23年4月1日の路線見直し以降運行を続けている。	利用者数は対前年度比を上回り、目標を達成している。 平成23年4月の路線見直し以降、増加傾向で推移している。 【利用者数の目標:対前年度比増加】 平成25年度:582人/日(H24.10~H25.09) 平成26年度:623人/日(H25.10~H26.09)	中央循環線が通る長久手古戦場駅及び愛知医科大学病院は、今後、交通結節点が整備される計画となっている。また、第2次地域公共交通総合連携計画では、この2箇所の交通結節点を市内外への移動拠点と位置付けていることから、交通結節点の整備に合わせて、Nーバスの路線見直しを行い、市の南北軸の一部としてさらなる利用利便性の向上を図る。 三ヶ峯線では、沿線地域で新たな開発が進行しているため、居住者の移動実態を見ながら必要に応じてNーバス路線見直しを行い、交通不便地域における地域間交通ネットワークのフィーダーとしての役割の強化に努め、公共交通での移動の足の確保していく。
中央循環線右回り(名鉄バス)	市役所～市役所				
中央循環線左回り(名鉄バス)	市役所～市役所				
三ヶ峯線早朝便(名鉄バス)	ライスセンター～福祉の家				
三ヶ峯線平日便・福祉の家発(名鉄バス)	福祉の家～市役所				
三ヶ峯線土休日便・福祉の家発(名鉄バス)	福祉の家～市役所				
三ヶ峯線平日便(名鉄バス)	市役所～市役所				
三ヶ峯線土休日便(名鉄バス)	市役所～市役所				

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。